NO.2

ミッション名

求む！みかん農家の農機具修理士！

募集人数
1人

活動地域
西予市明浜町

地域の概要

これまで明浜町内の柑橘農家が使用するモノラック（みかん運搬用モノレール)、草刈り機、動力噴霧器などの農機具が故障した際には、JA ひがしうわ明浜農産センターが修理・整備を一手に担ってきました。

しかし、JA の事業規模縮小に伴い農機具部門が縮小され、これまで通り修理を依頼することが極めて困難になりつつあります。

特に急傾斜地での作業に不可欠なモノラックの故障は柑橘農家にとって致命的で、収穫作業が完全にストップしてしまいます。また、スプリンクラーの配管やバルブなど散水設備の故障も、園地管理に大きな支障をきたします。こうした修繕体制の不足は、高齢農家の営農継続断念や廃園、ひいては明浜の柑橘農業自体の衰退に関わる切実な課題となっています。

地域の課題

これまで明浜町内の柑橘農家が使用するモノラック（みかん運搬用モノレール)、草刈り機、動力噴霧器などの農機具が故障した際には、JA ひがしうわ明浜農産センターが修理・整備を一手に担ってきました。

しかし、JA の事業規模縮小に伴い農機具部門が縮小され、これまで通り修理を依頼することが極めて困難になりつつあります。

特に急傾斜地での作業に不可欠なモノラックの故障は柑橘農家にとって致命的で、収穫作業が完全にストップしてしまいます。また、スプリンクラーの配管やバルブなど散水設備の故障も、園地管理に大きな支障をきたします。こうした修繕体制の不足は、高齢農家の営農継続断念や廃園、ひいては明浜の柑橘農業自体の衰退に関わる切実な課題となっています。

協力隊に期待する役割

地域おこし協力隊には、明浜町の基幹産業である柑橘農業を支えるため、モノラックをはじめとする農機具とスプリンクラー設備の修理・整備技術を習得し、地域農家の営農活動を支援する役割を期待しています。特に、故障時の迅速な対応が難しくなっている農機具や、配管・バルブ・散水装置などの点検・修繕、定期的なメンテナンスを通じて地域課題の解決に取り組んでいただきたいです。

また、修理・整備を入口として地域の農家との信頼関係を築き、現場が抱える課題やニーズを把握しながら、農作業の効率化・省力化につながる工夫にもチャレンジしてほしいです。さらに、地域農業の持続的な発展につながる仕組みづくりを地域住民や関係者とともに検討し、実践することを期待しています。

活動にあたっては、果樹同志会をはじめとする地域の農家・住民・関係機関が一体となって協力隊を受け入れ、技術習得や地域とのつながりづくり、生活面を含めた支援を行い

ます。協力隊員には、地域の一員として住民との交流を深め、任期終了後には農機具・スプリンクラー修繕事業等での起業や定住を目指しながら、将来にわたって地域農業を支える担い手となることを期待しています。

協力隊にもとめる人物像

- 機械いじりと愛媛のみかんが大好きな方
- 人としゃべることが好きで、周囲の状況や空気を優しく読める方
- 田舎ならではの暮らしや人間関係を心から楽しめる方
- 心のパンツを脱げる人（飾らず素直に地域や農家の懐へ飛び込める人）

3 年間の活動イメージ

【1年目】（基礎技術習得と関係づくり）

明浜町の柑橘農業や地域の課題を深く理解し、果樹同志会や地域農家、修理に携わる技術者から農機具・スプリンクラー設備の修理・整備の基礎を学びます。現場への同行・実習を通じて、配管やバルブの点検を含む実践的な技術を身につけ、地域行事へ参加して住民との信頼関係を築きます。

【2年目】（対応範囲拡大と現場実践）

モノラックや草刈り機等の修理に加え、スプリンクラーの配管・バルブ・散水装置の不具合対応について、一人で対応できる範囲を広げます。農家からの修理・メンテナンス依頼に迅速に対応し、特に秋から冬の最盛期における緊急トラブル対応を経験します。

【3年目】（自立と事業化の確立）

農機具およびスプリンクラー設備の修繕を担う技術と経験を確立し、農家からの依頼に継続対応できる体制を構築します。必要に応じてドローン等の省力化技術も検討しながら、任期終了後の事業化・起業に向けた具体的な準備を進めます。

協力隊の任期後のイメージ

任期終了後は、明浜町を拠点として、モノラックをはじめとする農機具とスプリンクラー設備の修理・整備を担う事業者として自立することを期待しています。明浜町内の農家からの依頼に継続的に対応するとともに、将来的には明浜町外、南予地域の農家からの依頼にも対応できる事業へと発展させることが可能です。

また、散水設備の点検・修繕や予防的なメンテナンスを通じて農家の負担軽減と営農継続を支える存在となり、任期中に築いたつながりを生かして地域全体で農業を支えるネットワークの一員として活動することを期待しています。さらに、将来的には新たな人材を雇用・育成し、地域に仕事と担い手を生み出す、地域に根差した事業者として定住することを期待しています。

活動や暮らしのサポート体制

受入担当は明浜町果樹同志会で、活動拠点として JA ひがしうわ明浜農産センターを使用します。

居住地は狩江地区または俵津地区を予定しており、同志会メンバー、地域農家、自治会、そして先輩移住者や協力隊 OB・OG が私生活を含めて手厚くサポートします。

協力隊を希望するひとへのメッセージ

農機具やスプリンクラーの修繕を通じて農家の「困った」を直接解決し、「ありがとう！」の言葉をダイレクトに受け取れるやりがいに満ちた仕事です。「技術の継承」「農家の営農継続」「地域人材の確保」「定住」を同時に達成する素晴らしいミッションに、温かい明浜の仲間たちと一緒に挑戦してみませんか？